作成日：　2009 年 5 月 27 日
改訂日(V.6)：　2016 年 3 月 29 日

製品安全データシート

１．製品及び会社情報

製品名：　**日農アクテリック乳剤(ピリミホスメチル乳剤)**

会社名：　日本農薬株式会社
住　所：　〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋ＯＭビル
担当部門：　環境安全部
TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号：(平日)　03-6361-1426 (環境安全部)
(休日、夜間)　04-2929-8961 (ＡＬＳＯＫ)
用途及び使用上の制限：農薬(殺虫剤)、農薬登録以外の使用は不可
ＭＳＤＳ番号：　５０１－０７(Ｍ０９－０８)

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分３
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分４
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入･蒸気)	区分３
	皮膚腐食性･刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷･眼刺激性	区分１
	皮膚感作性	区分１
	吸引性呼吸器有害性	区分１
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分１
	水生環境有害性(慢性)	区分１

上記で記載がない危険有害性は､分類対象外か分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示



注意喚起語　危険

危険有害性情報
- 引火性液体および蒸気
- 飲み込むと有害
- 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険の恐れ
- 重篤な眼の損傷
- アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ
- 眠気またはめまいの恐れ
- 水生生物に非常に強い毒性
- 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き
- ■ 子供の手の届かないところに保管する。
- ■ 熱・火花・裸火・高温のものから遠ざける。禁煙。
- ■ 煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- ■ 取扱い時に飲食または喫煙をしないこと。
- ■ 保護手袋・保護衣・保護メガネ・保護面を着用すること。
- ■ 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡する。吐かせない。

- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗う。
- 眼に入った場合、水で 15 分間以上注意深く洗う。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。直ちに医師に連絡する。
- 漏出物を回収する。
- 必要な時以外は環境への放出は避ける。
- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

３．組成，成分情報

単一製品･混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名):2-ジエチルアミノ-6-メチルピリミジン-4-イルジメチルホスホロチオネート（一般名 ピリミホスメチル）

成分及び含有量：

成　分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ピリミホスメチル	49.0%	29232-93-7	8-(2)-239	―
		化管法第一種指定化学物質		
〈その他〉				
直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸塩	3.0%	―	―	―
		化管法第一種指定化学物質		
イソブチルアルコール	1.3%	78-83-1	―	(2)-3049
		安衛法表示･通知対象物		
1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	14.0%	95-63-6	―	(3)-7,(3)-3427
		化管法第一種指定化学物質		
1,3,5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	4.0%	108-67-8	―	(3)-7,(3)-3427
		化管法第一種指定化学物質		
クメン	2.0%	98-82-8	―	(3)-22
		化管法第一種指定化学物質		
界面活性剤等	残			

４．応急措置

眼に入った場合：直ちに清水で 15 分以上洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。直ちに医師に連絡する。

皮膚に付着した場合：汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹸でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：口の中をすすぎ、カップ１～２杯の水を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。無理に吐かせてはならない。意識の無いときには口から何も与えてはならない。可能であれば容器、ラベルまたはこのデータシートを医師に示すこと。有機リン剤なので曝露するとコリンエステラーゼ活性が阻害される。ＰＡＭ及び硫酸アトロピン製剤が有効であると報告されている。

吸入した場合：　被災者を速やかに新鮮な空気の場所に移す。呼吸しやすい姿勢で休息させる。保温、安静に努める。直ちに医師の診断を受ける。

５．火災時の措置

消火時の注意：　消火活動には適切な保護具(自給式呼吸保護具等)を着用する。蒸気、煙等の吸入を避ける。消火水が下水や河川に流れ込まないよう適切な処置をとる。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及びその周辺に散水して冷却する。

消火剤：　噴霧放水、粉末、耐アルコール性泡、炭酸ガス（棒状放水は行わない）

６．漏出時の措置

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを取り除く。適切な保護具(保護衣、保護メガネ、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、ガスやミストを吸い込まないようにする。漏出物を土、砂等に吸収させ、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：　局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。
適切な保護具を着用し、ガスやミストを吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。着火源となるものの付近では取扱いをしてはならない。静電気放電に対する予防措置を講ずる。電気機器類は防爆型のものを使用する。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保　管：　容器を密閉し、換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない危険物倉庫に施錠して保管する。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策：　局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

個人保護具：　状況に応じた適切な保護具を着用する。
ゴーグル型保護メガネ、保護面、保護マスク、保護衣(不浸透性長袖・長ズボン)または耐薬品性エプロン、不浸透性手袋、ゴム長靴等

管理濃度：　ＴＷＡ値(シンジェンタ社)　ピリミホスメチル 3mg/m^3(8hr)
許容濃度：　日本産業衛生学会、ＡＣＧＩＨ　未設定

９．物理的及び化学的性質

外　観：　淡黄色澄明可乳化油状液体
比　重：　1.02(20℃)
pH：　6.13(20%水懸濁液)
引火点：　45.3℃(タグ密閉式)
オクタノール/水 分配係数　ピリミホスメチル log Pow = 4.2(20℃)

１０．安定性及び反応性

安定性：　通常の条件下では安定。
反応性：　通常の条件下では安定。
危険有害な分解生成物：通常の条件下では生成しない。過熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生する恐れがある。

１１．有害性情報

急性経口毒性：　ラット LD_{50} 値(mg/kg)　♀ 300～2000
急性経皮毒性：　ラット LD_{50} 値(mg/kg)　♂,♀ >2000
皮膚刺激性：　ウサギ　軽度の刺激性あり。
眼刺激性：　ウサギ　中程度の刺激性あり(洗眼効果有り)。
皮膚感作性：　モルモット　感作性有り。

１２．環境影響情報

水産動植物への影響

コイ	LC_{50} 値/96hr	6.2mg/L
オオミジンコ	EC_{50} 値/48hr	0.0011mg/L
藻類	EbC_{50} 値/0～72hr	3.07mg/L
	ErC_{50} 値/0～72hr	8.27mg/L

１３．廃棄上の注意

法､条例等に従って安全に処理する｡または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。
空容器：内容物を使いきった後、3 回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。

１４．輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。
国連分類･番号：　クラス３、１９９３
容器等級：　Ⅲ
品名：　引火性液体、ｎ．ｏ．ｓ、(置換ベンゼノイド炭化水素、ピリミホスメチル)
海洋汚染物質に該当

１５．適用法令

農薬取締法
消防法：危険物/引火性液体(第四類第二石油類)
危険物船舶運送及び貯蔵規則
毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず。
労働安全衛生法
表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条)：

表示対象物	2016.5.31 まで (改正法施行前)	2016.6.1 から (改正法施行後)
イソブチルアルコール	イソブチルアルコール 政令番号 2 の 2 (対象となる範囲 1%以上)	ブタノール 政令番号 477 (対象となる範囲 1%以上)

通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)：
イソブチルアルコール(ブタノール/政令番号 477)

化学物質排出把握管理促進法：
第一種指定化学物質：ピリミホスメチル(政令番号 146)､直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩(政令番号 30)､1,2,4-トリメチルベンゼン(政令番号 296)､1,3,5-トリメチルベンゼン(政令番号 297)､クメン(政令番号 83)

１６．その他の情報

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情 報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。